YUSHIN

株式会社 ユーシン精機

2019年3月期

決算説明会

代表取締役社長　小谷 眞由美

2019年5月14日

東証第一部　証券コード6482

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

2019年3月期決算のポイント

- 業績

  売上高は、特注機販売好調により、増収（過去最高）

  営業利益は、減価償却費の減少、開発費用の平準化により、増益

- 2020年3月期予想

  売上高は、中国向けは不透明も特注機販売好調により、横ばいの見込

  営業利益は、コストダウン等により微増の見込

- トピックス

  最新の取出ロボットFRAが、

  日本機械学会賞(技術)、レッドドット・デザイン賞(ドイツ)、

  機械工業デザイン賞、優秀省エネ機器・システム表彰を受賞

2019年3月期実績

	2018/3	2019/3	
	金額	金額	伸び率*
売上高	百万円 20,878	百万円 21,833	% 4.6
売上総利益 (売上総利益率)	8,461 40.5%	8,741 40.0%	3.3
営業利益 (営業利益率)	2,358 11.3%	2,760 12.6%	17.0
経常利益 (経常利益率)	2,432 11.6%	2,791 12.8%	14.7
親会社株主に帰属する当期純利益 (純利益率)	1,626 7.8%	1,903 8.7%	17.0

*対前期増減率

<為替レート>		
米ドル	110.85円	110.91円
英ポンド	147.03円	145.68円
人民元	16.75円	16.54円

2019年3月期実績について

	(+)増加要因　(−)減少要因
売上高	➢ 前期比4.6%増の21,833百万円 ・ 取出ロボットは前期比0.4%増 （+）国内・北米では、自動車関係を中心に好調に推移 （−）中国・韓国では、電子部品・光学関係を中心に減少 ・ 特注機は前期比30.6%増 （+）国内では自動化ニーズを背景に、好調を維持 （+）海外では医療分野向けを中心に、好調に推移
営業利益	➢ 前期比 17.0%増の2,760百万円 （+）減価償却費のダウン、開発費用の平準化 （+）増収による利益の押し上げ （−）上期に部材調達難による仕入価格の上昇

2020年3月期予想

	2019/3(実績)		2020/3 (予想)			
	第2四半期	通期	第2四半期		通期	
	金額	金額	金額	伸び率*	金額	伸び率*
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	10,586	21,833	10,500	△0.8	22,000	0.8
売上総利益 (売上総利益率)	4,149 39.2%	8,741 40.0%	4,250 40.5%	2.4	8,920 40.5%	2.0
営業利益 (営業利益率)	1,203 11.4%	2,760 12.6%	1,250 11.9%	3.9	2,800 12.7%	1.4
経常利益 (経常利益率)	1,228 11.6%	2,791 12.8%	1,250 11.9%	1.7	2,800 12.7%	0.3
親会社株主に帰属する当期純利益 (純利益率)	861 8.1%	1,903 8.7%	900 8.6%	4.5	1,950 8.9%	2.4

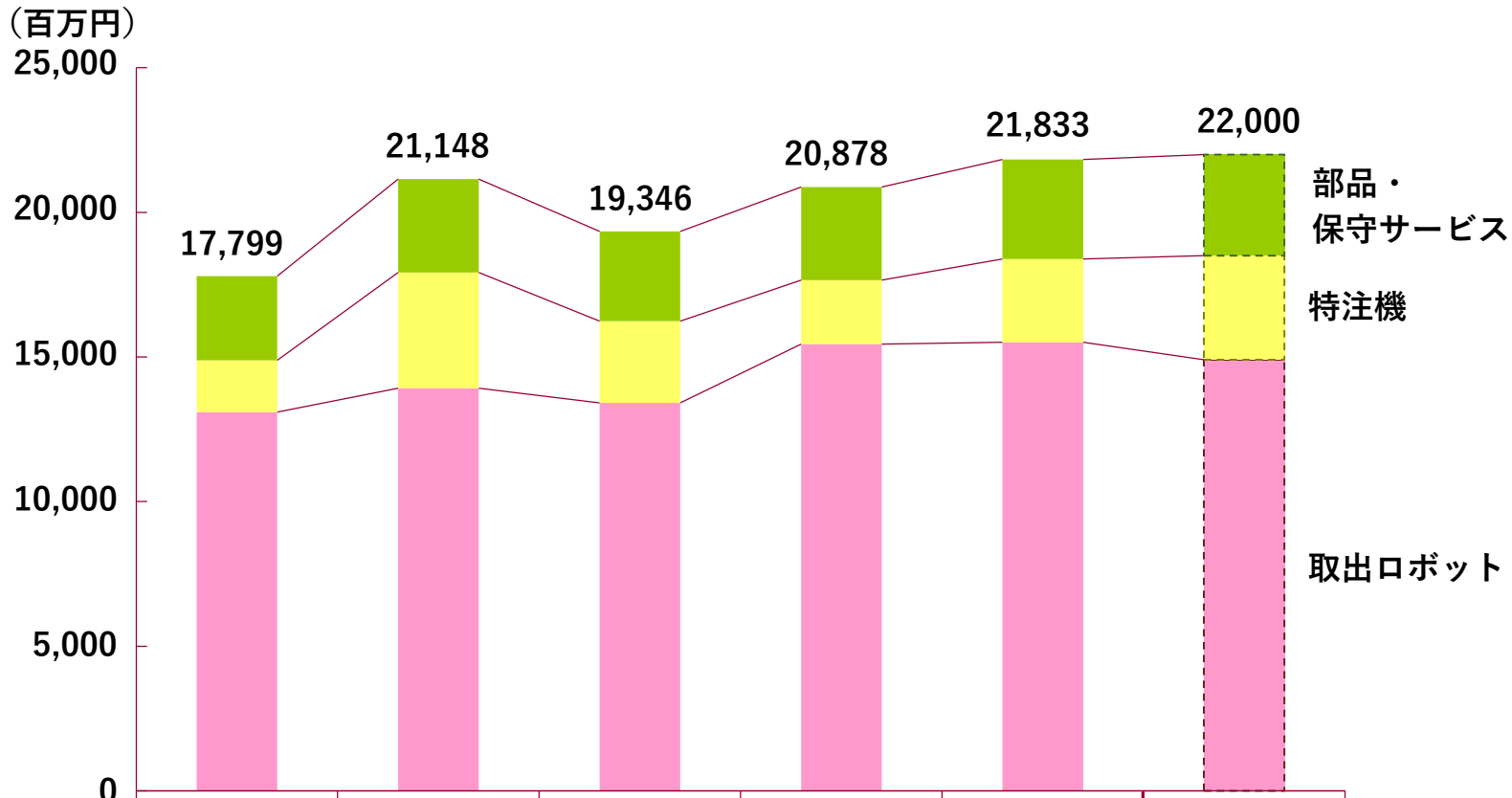
＊「伸び率」は、通期は対前期、第2四半期は対前年同四半期増減率

<為替レート>			
米ドル	110.26円	110.91円	105.00円
英ポンド	146.91円	145.68円	145.00円
人民元	16.75円	16.54円	16.50円

2020年3月期予想について

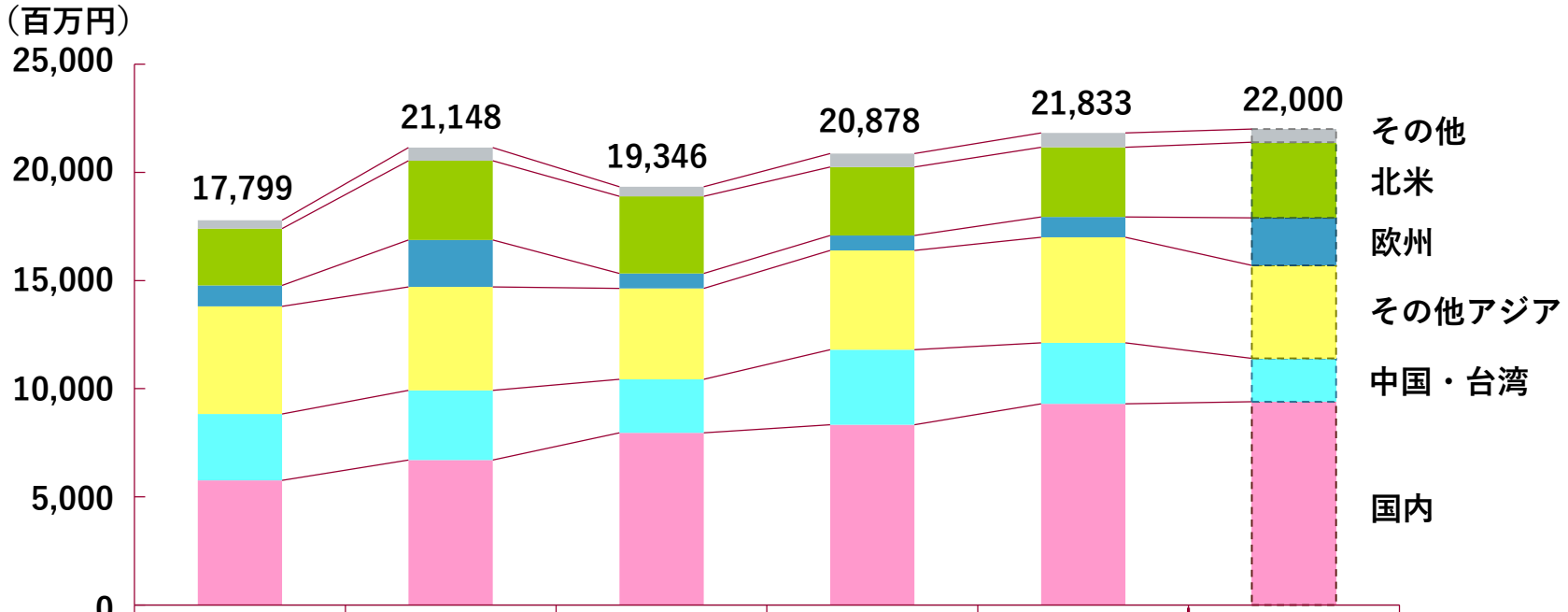
	(＋)増加要因　(－)減少要因
売上高	➢ 前期比0.8％増の22,000百万円 ・取出ロボットは前期比4％減 （＋）国内、アメリカは底堅い （－）中国、韓国は不透明 ・特注機は前期比25％増 （＋）医療向け特注機の増加 （＋）国内外における自動化ニーズの増加
営業利益	➢ 前期比1.4％増の2,800百万円 （＋）継続的なコストダウンによる収益性向上 （＋）主力取出ロボット販売数量の増加による利益貢献 （＋）働き方の更なる効率化

品目別売上高



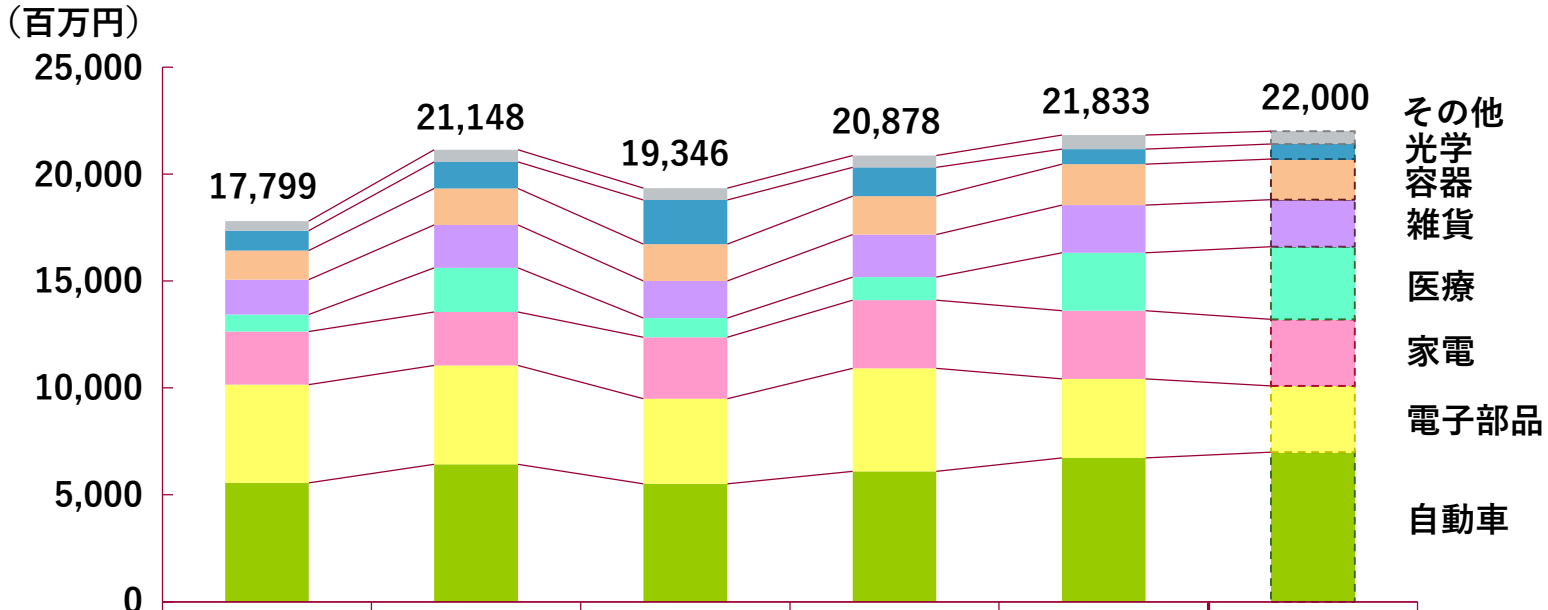
	’15/3	’16/3	’17/3	’18/3	’19/3	’20/3(予)
部品・保守サービス	2,911	3,227	3,103	3,223	3,440	3,500
特注機	1,794	3,997	2,832	2,204	2,880	3,600
取出ロボット	13,092	13,923	13,410	15,449	15,512	14,900
合計	17,799	21,148	19,346	20,878	21,833	22,000

地域別売上高



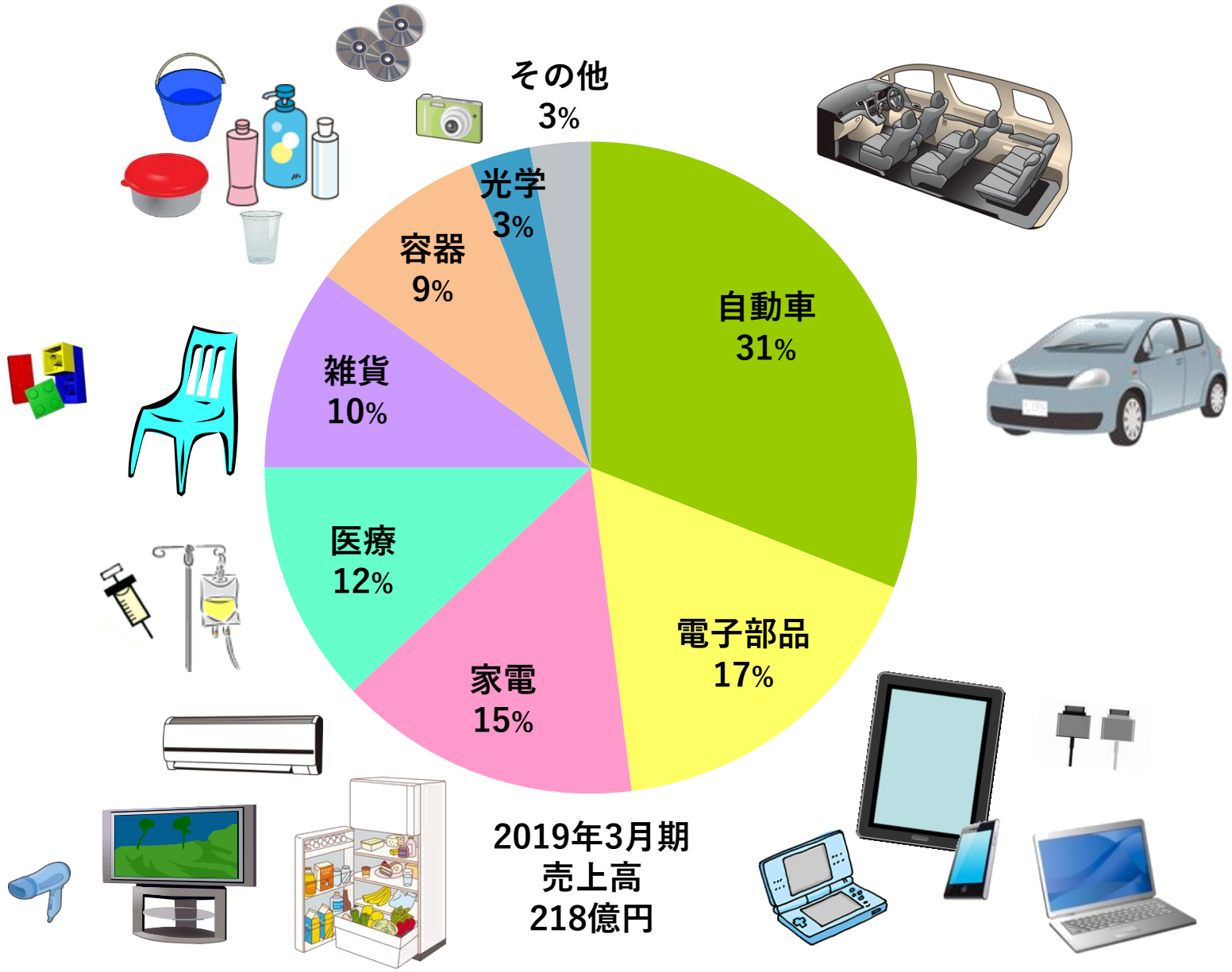
	’15/3	’16/3	’17/3	’18/3	’19/3	’20/3(予)
その他	395	610	445	620	663	600
北米	2,628	3,665	3,573	3,172	3,233	3,500
欧州	959	2,163	693	687	939	2,200
その他アジア	4,982	4,781	4,200	4,594	4,876	4,300
中国・台湾	3,069	3,220	2,477	3,468	2,816	2,000
国内	5,762	6,707	7,955	8,335	9,304	9,400
合計	17,799	21,148	19,346	20,878	21,833	22,000

業種別売上高

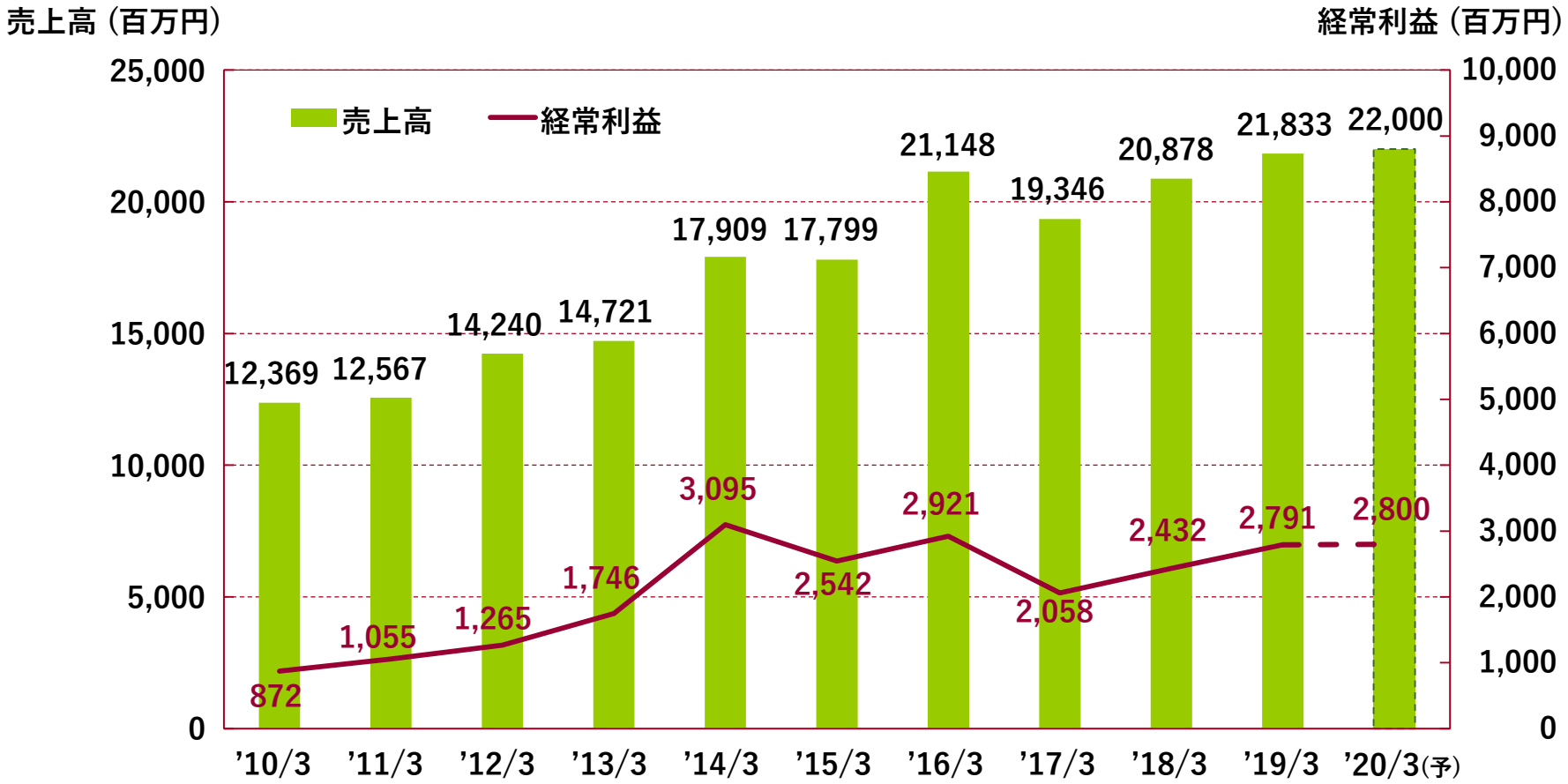


	’15/3	’16/3	’17/3	’18/3	’19/3	’20/3(予)
その他	440	580	549	565	657	600
光学	930	1,232	2,072	1,342	704	700
容器(食品・化粧品等)	1,361	1,708	1,715	1,799	1,916	1,900
雑貨(家具・コンテナ等)	1,634	2,002	1,741	1,981	2,229	2,200
医療	797	2,069	902	1,087	2,705	3,400
家電(AV含む)	2,475	2,497	2,862	3,187	3,195	3,100
電子部品	4,592	4,629	3,992	4,807	3,698	3,100
自動車	5,567	6,428	5,511	6,106	6,724	7,000
合計	17,799	21,148	19,346	20,878	21,833	22,000

業種別売上高構成



業績の推移



営業利益率（%）	6.1	8.7	8.9	10.2	15.6	12.9	14.6	10.9	11.3	12.6	12.7
経常利益率（%）	7.1	8.4	8.9	11.9	17.3	14.3	13.8	10.6	11.7	12.8	12.7

子会社の業績推移（実績）

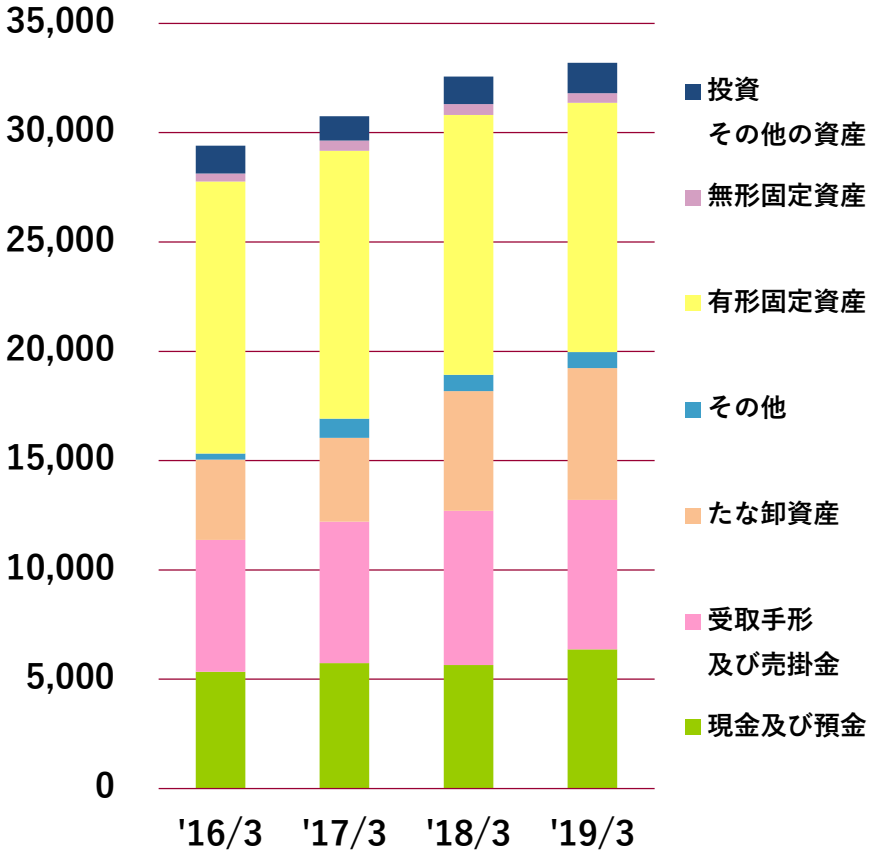
（百万円）

国　名	設立時期	出資比率	2018/3			2019/3		
			売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益
韓　国	2000.10	100.0%	1,615	213	164	1,380	133	96
中国（上海）	2007. 2	100.0%	1,451	75	50	1,200	35	33
中国（深圳）	2004. 4	100.0%	914	42	30	856	36	31
台　湾	2001. 7	100.0%	92	19	16	75	12	10
インドネシア	2012.11	99.0%	286	34	22	301	28	19
ベトナム	2014. 2	100.0%	95	12	11	92	7	6
マレーシア	2001. 5	100.0%	236	24	23	216	23	14
タイ	2001. 8	49.0%	850	109	97	1,021	132	112
インド	2007. 8	95.0%	53	7	3	57	12	9
イギリス	2004. 3	95.6%	698	130	100	917	81	56
アメリカ	1988.10	100.0%	3,200	260	121	3,441	307	206
中国（広州）	2008. 9	100.0%	1,551	62	60	1,383	109	57

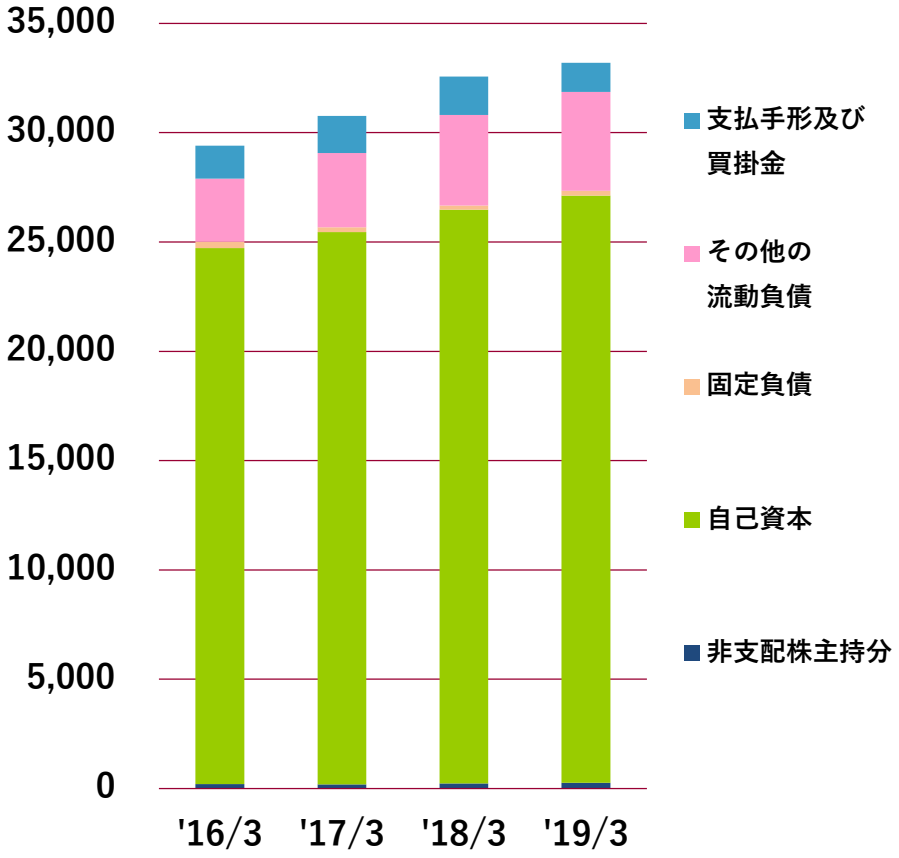
＜為替レート＞		
米ドル	110.85円	110.91円
英ポンド	147.03円	145.68円
中国人民元	16.75円	16.54円

貸借対照表

◆資産（百万円）



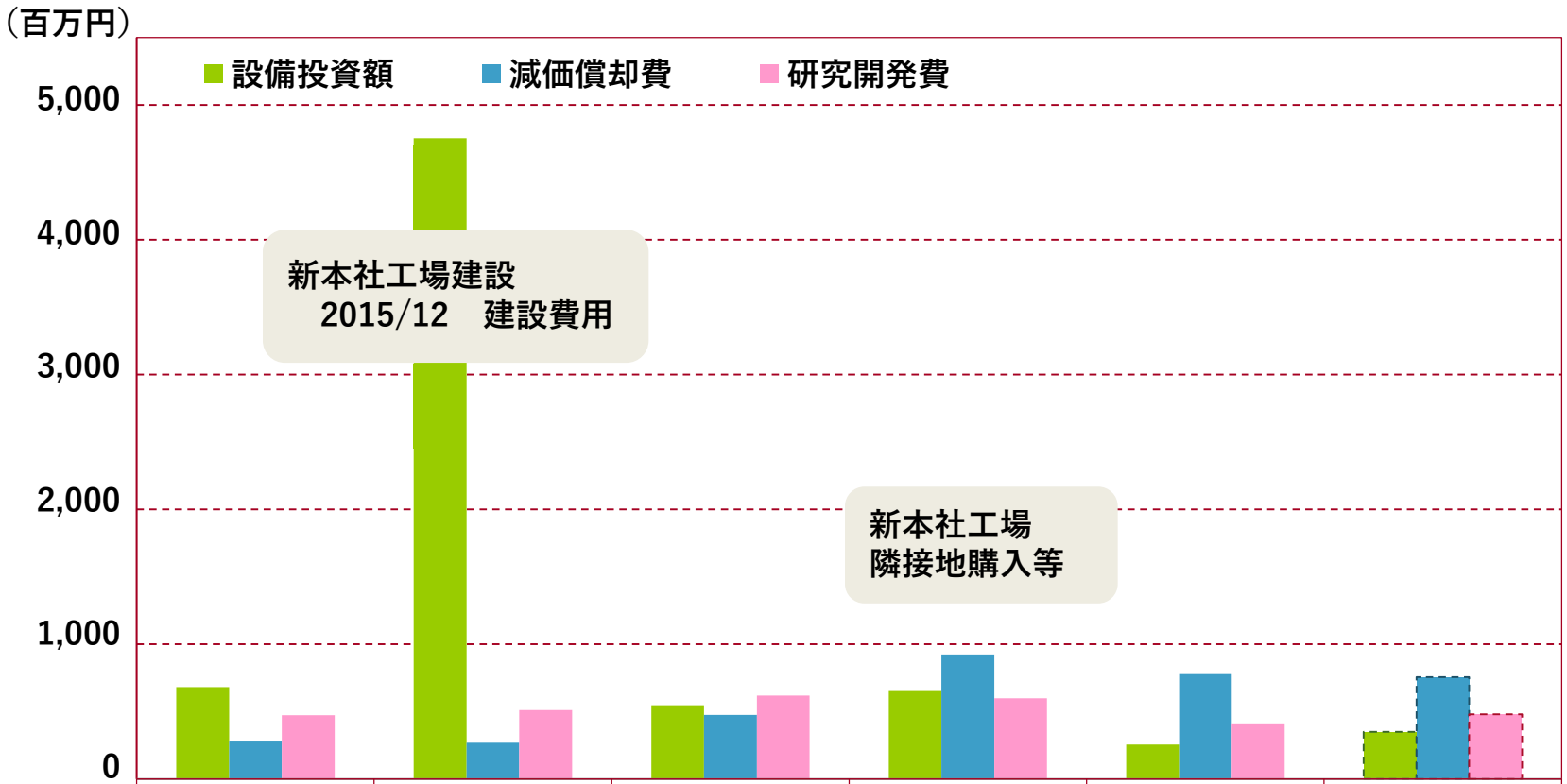
◆負債・純資産（百万円）



- ’19年3月末受注残増によりたな卸資産が増加

- 自己資本比率80%以上を継続
- 有利子負債ゼロを継続
- ’19/3は自己株買いにより自己資本が増加

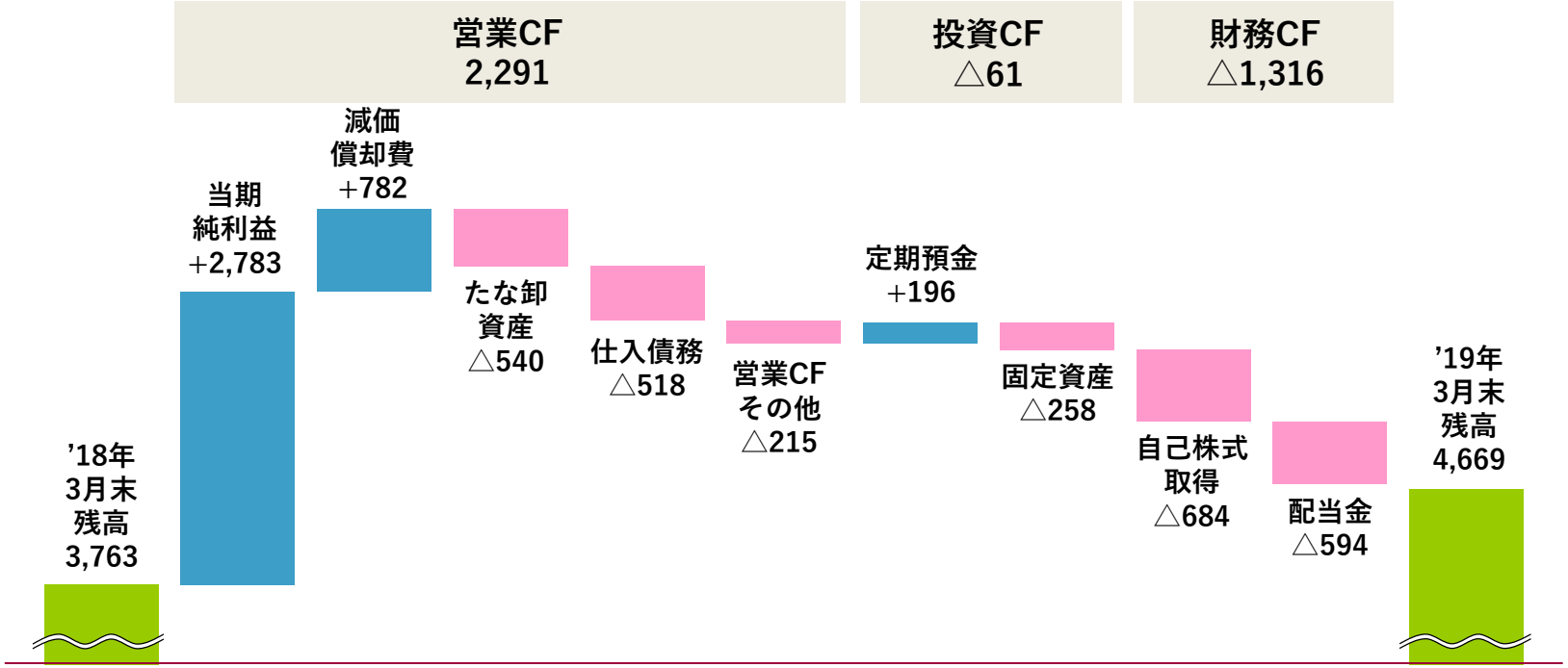
設備投資、減価償却費、研究開発費



	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3(予)
設備投資額	682	4,754	546	652	256	350
減価償却費	277	268	474	924	778	754
研究開発費	472	510	619	598	413	480

キャッシュ・フロー(CF)分析・推移

◆キャッシュ・フロー分析（主なもの）



◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移　（百万円）

	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3(予)
営業CF	2,104	2,218	1,626	1,223	2,291	2,300
投資CF	△256	△5,105	△471	△2,511	△61	△975
財務CF	△560	△677	△678	△659	△1,316	△926

当社の特長

理念・方針	➢ ユーザの要望に応える高品質なものづくり ➢ 新規事業分野への挑戦
グローバル展開	➢ 海外売上比率の高さ ➢ 業界一のグローバルな拠点網とサポート体制
顧客からの支持	➢ 営業、サービスのレスポンスの良さ ➢ 業界をリードする技術力と納期厳守による信用力
安定した財務体質	➢ 設備を最小限にしたファブレス経営 ➢ 無借金経営・自己資本比率の高さ

↓

業界シェアNo.1

中期経営目標

2019年3月期

- 連結売上高： 218億円
- 連結経常利益：27億円
- 経常利益率： 12.8%
- 1株当たり利益： 54円

- 連結売上高： 300億円
- 連結経常利益： 50億円以上
- 経常利益率： 15%以上
- 1株当たり利益： 75円以上

戦略④ 新規事業の開拓

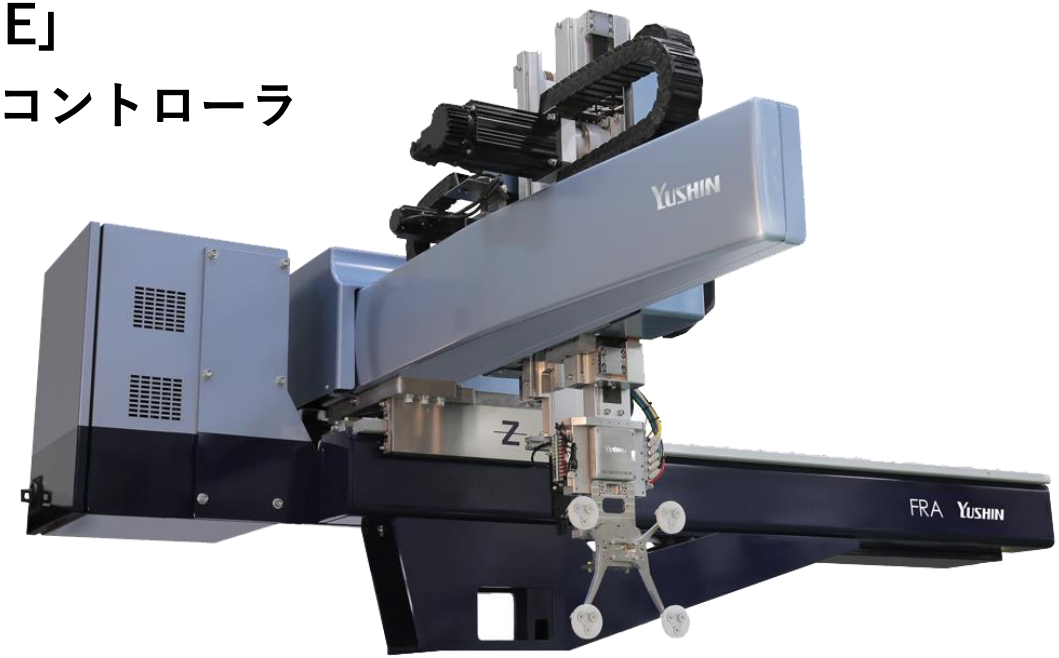
戦略③ 人材育成

戦略② グローバル展開の更なる強化

戦略① 商品力の強化

戦略①：商品力強化(1) ― ハイエンド取出ロボットFRA

- 国際安全規格対応
- アクティブ振動制御機能
- IoTサービス「INTU LINE」
- 人間工学に基づいた新型コントローラ



2018年度
日本機械学会賞(技術)

reddot design award
winner 2019

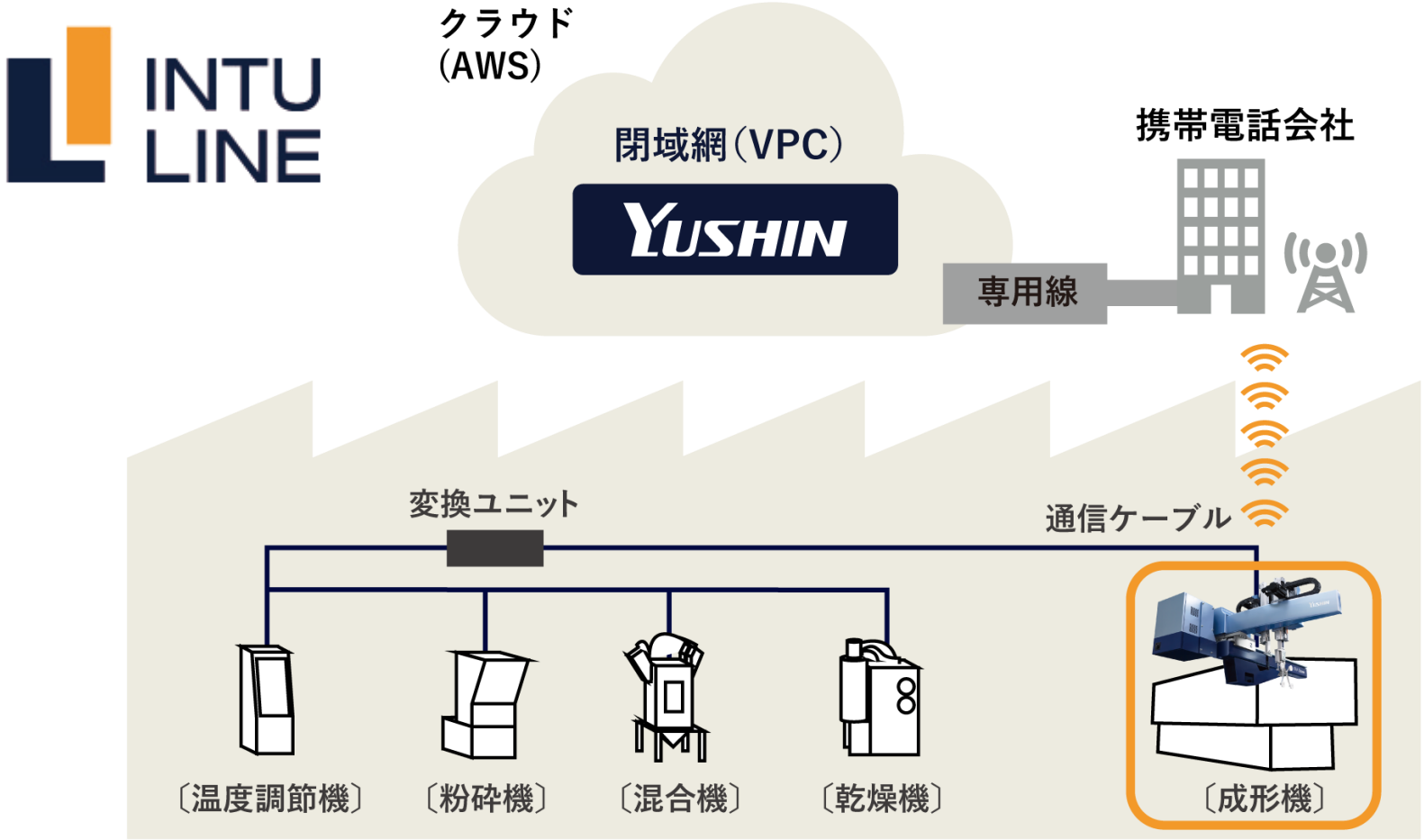
機械工業デザイン賞

優秀省エネ機器・システム

2017年7月発売

戦略①：商品力強化(2) ― IoTサービス「INTU LINE」

➢ 取出ロボットFRAを1台導入すれば工場がインテリジェンスに変わる



【成形工場】

戦略①：商品力強化(3) ― IoTサービス「INTU LINE」

- メーカ間の垣根を越えた工場の「見える化」を実現

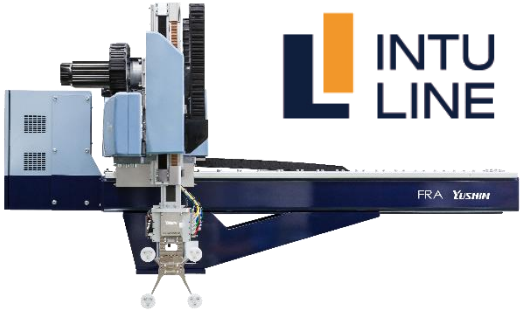
<接続協賛企業様>

NISSEI
Sumitomo Heavy Industries, Ltd.
JSW
Sodick
FANUC
TOYO MACHINERY & METAL
KAWATA
MATSUI in search of rapport
HORAI
USHIO
Futaba
NIHON YUKI

※2019年5月現在の接続実績

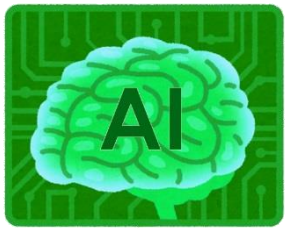
戦略①：商品力強化(4) ― FRA予知保全

【変化の検出】
ロボット自身が常に状態の
変化を検出



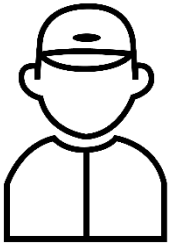
検出した情報

【予兆の推定】
実績データを踏まえて、
AI(人工知能)が**予兆推定**



(追加予定)

予知保全情報



**レベルアップした
予知保全情報**

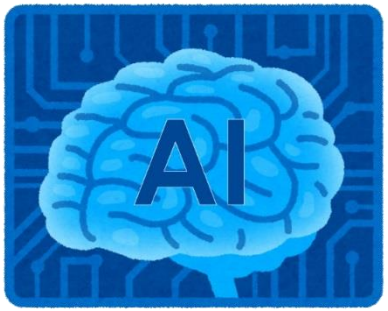
(例) ベルトテンション、コンデンサ電圧、エア圧などの異常検知やAI故障予測で
トラブルを未然に防ぎます

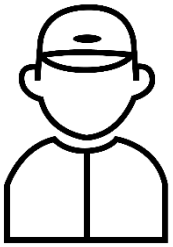
戦略①：商品力強化(5) ― AIの活用

【異常の検出】
弊社サービス担当が認識できた
ロボットの異常

トラブル症状

【原因の推定】
修理実績データを踏まえて、
AI(人工知能)が原因推定





正確で迅速なサービス提供

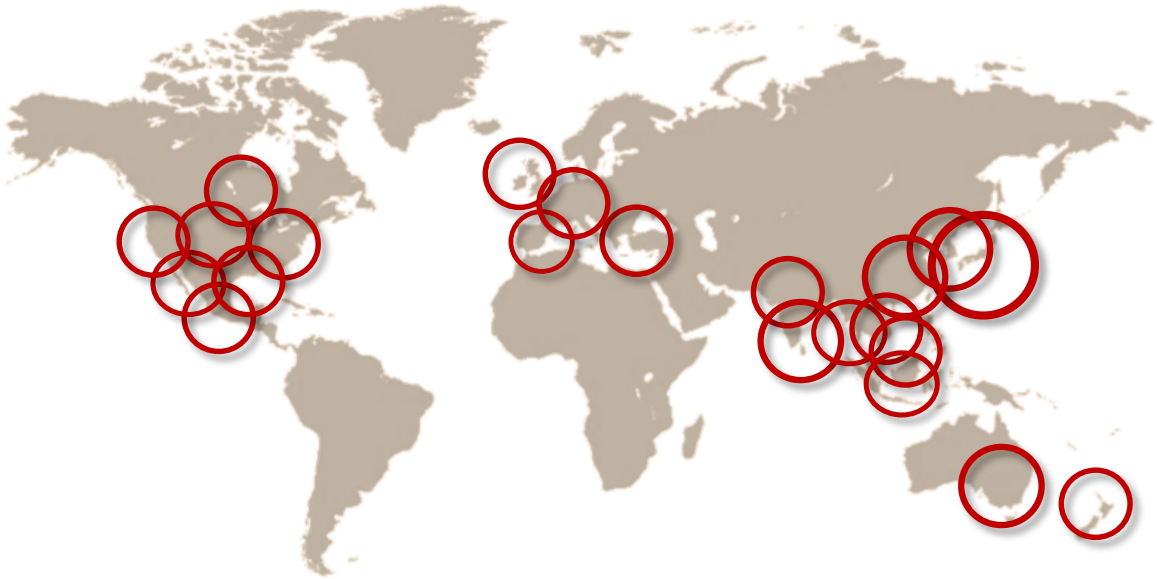
戦略①：商品力強化(6) ― 大型取出ロボット

- アメリカ向け大型取出ロボット MKA-2000S　新発売
- アメリカの大型ロボット市場へテコ入れ

2019年5月発売（アメリカのみ）

戦略②：グローバル展開力の更なる強化

- ヨーロッパでの拡販に向けてドイツ(ミュンヘン)拠点設立
- 世界各国のトップクラス企業をターゲットに
- 各国のローカルユーザの更なる獲得
- 継続的なグローバル人材の積極採用



戦略③：人材育成

- 様々な工場自動化ニーズに対応するSIer（システムインテグレータ）の育成
- 各種研修の実施
  技術研修(eラーニングも開始)、マネジメント研修、海外トレーニー制度
- 女性の積極活用（正社員女性割合17%）

ESG

E 環境	<環境負荷の低減> ・省エネ商品開発（優秀省エネ機器・システム表彰の受賞） ・環境マネジメントシステム(ISO14001)の推進
S 社会	<お客様工場の働き方改革> ・工場全体の自動化システム提供 <安心・安全> ・世界最高基準の安全規格搭載ロボット販売 <働きやすい環境づくり> ・働き方支援チーム設置 ・法要請を上回る育休、時短制度
G ガバナンス	<ガバナンス体制の強化> ・取締役8名のうち、3名を社外から選任 ・実効性評価による取締役会の改善

関連する
SDGs項目

経団連の働き方改革事例集に掲載されました

働き方改革 toward Society 5.0

長時間労働の是正・休暇取得促進

従業員のコミットメント・従業員満足

テクノロジーの活用（AI・RPA）

case 15

YUSHIN

株式会社ユーシン精機

設立	1973年	事業内容	産業用ロボット等の製造・販売
本社所在地	京都府京都市	従業員数	683人（2018年3月現在）

point 1

自社製品で製造業の競争力強化をサポート

ユーシン精機は、主にプラスチック射出成形品用取出ロボットの開発、製造、販売を行っており、工場全体の自動化（FA）システムの提供を通じて顧客である製造業の競争力の強化をサポートしている。

例えば、製品を金型から取り出すロボットは、生産効率と品質向上のみならず、作業者の安全に寄与する。また、IoTの導入による顧客企業における情報の見える化、AI活用によるトラブル症状の解析に取り組むなど、業務の効率化や生産性向上、ひいては、働き方改革の推進に寄与している。

point 2

働き方支援チーム発足

同社では、2017年9月に働き方支援チームを発足させた。社員一人ひとりの健康づくりや、働きやすい環境づくりを経営戦略上の重要目標と位置づけ、働き方支援の取り組みを推進することが目的である。主な業務内容は以下のとおり。

①働きやすい環境づくり

働き方の効率化、時間外労働削減に向けた施策、コミュニケーションやつながりを深めるための企画等に取り組んでいる。

②社員の健康づくりサポート

産業医と連携した健康サポートや、実践的で分かりやすい健康支援だよりをタイムリーに発行するなど健康に役立つ情報を発信している。

③労務管理による社員の働き方サポート

働き方改革を推進するための関係法律を踏まえた労務管理の強化や、不調者等に対し健康相談を実施するなどサポートしている。

上記の取り組みを一体的に進めることにより、社員が働いて良かったと心から思える会社づくりに取り組んでいる。チームで推進することにより、改革が加速することをねらいとしている。

point 3

1日20分業務効率化運動

また同社では、2017年11月より業務効率化推進プロジェクトを始動させた。

同プロジェクトの一環として、社員一人ひとりが自らの働き方を変え、自己成長することで生産性向上を促すべく、「1日20分業務効率化運動」を推進している。

毎日20分間（午前10分、午後10分）業務効率化のためにできることを意識的に実践し、これを積み上げることで、「意識・行動の改善、成果事例創出」「時間当たり生産性改善」「総残業時間削減」につなげていくという趣旨である。

全員参加で取り組んでいるが、間接業務を中心とした業務ルール・仕組みの見直しや、部門別の取り組みにもきめ細かく対応している。また、研修・教育等を通じたサポートも展開している。

整理整頓	(1)5S（整理、整頓、清掃、清潔、躾）の徹底
重複・ムダの排除	(2)朝礼、会議の効率化（目的明確化、時間・内容見直し）
	(3)資料のコンパクト化（必要以上の資料作成・保管の抑制）
	(4)整線の見直し（移動の仕方、レイアウト等の改善）
	(5)各種ルールの整守（整然と業務）
スケジュール、タスク管理	(6)スケジュール、タスク管理の工夫（事前計画、振返り、優先順位づけ）
効率化ツール活用	(7)便利機能の徹底活用（例：スケジュール共有、会議招集）
意識啓発、体制改善（主に管理者向け）	(8)チーム内の意識啓発、効率化策の共有
	(9)適切な労務管理、コミュニケーション（残業事前申請徹底）
	(10)業務の目的・成果明確化、分担適正化、標準化

業務効率化推奨活動

＊詳細は、日本経済団体連合会ウェブサイト「働き方改革事例集」ページをご覧ください。

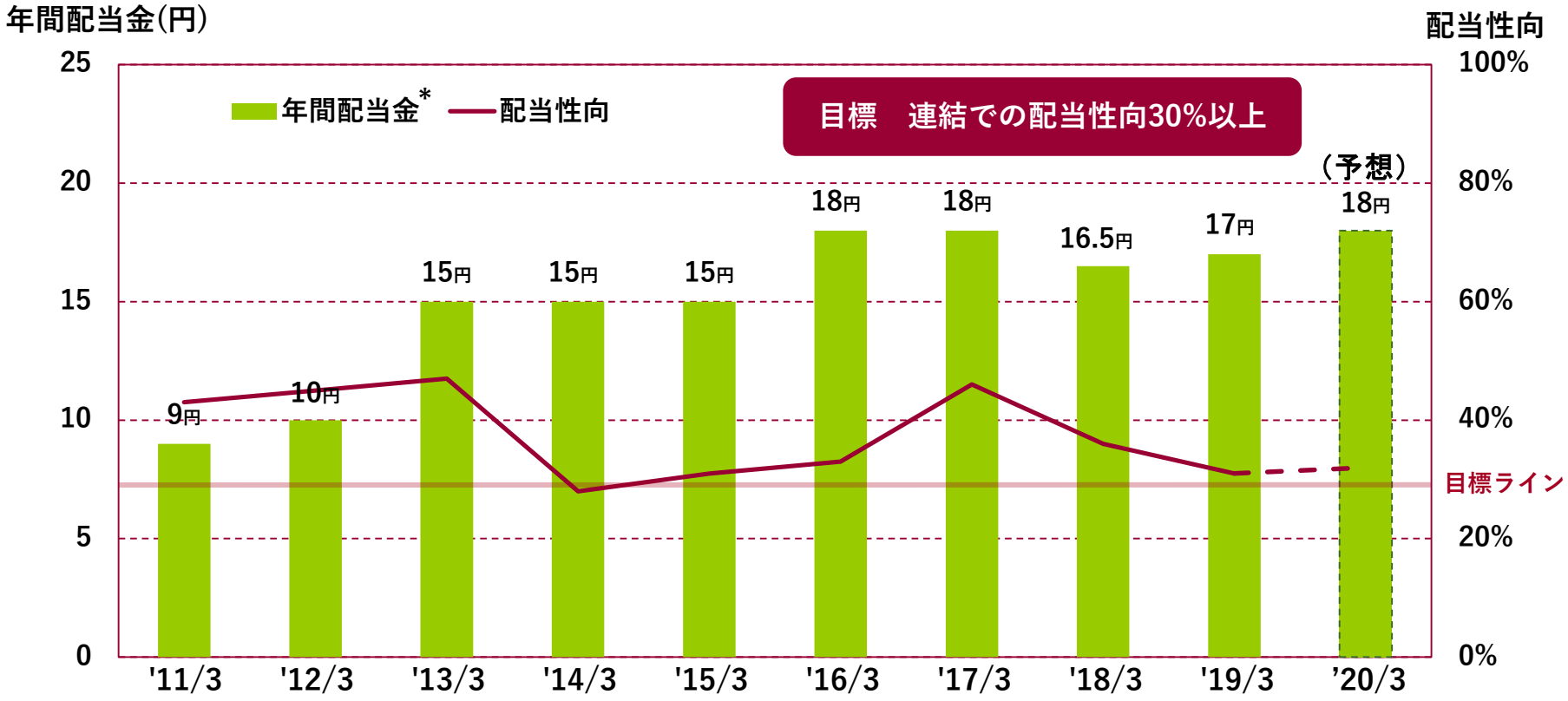
http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/104.pdf

株主還元策

- 自己株式取得

取得した株式総数：938,100株　　取得価額の総額：約10億円

期間：2019年2月8日～2019年5月8日



＊年間配当金は、2018年4月1日付の株式分割(1:2)後ベースに換算したものです。

参考資料

- 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- 商品ラインアップ(1) ・・・・・・・・・・・・・・・31
- 商品ラインアップ(2) ・・・・・・・・・・・・・・・32
- 取出ロボットの性能と価格・・・・・・・・・・・・・33
- グローバルネットワーク・・・・・・・・・・・・・・34

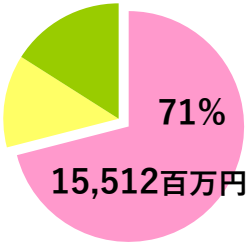
（参考資料）会社概要

社　　名	株式会社ユーシン精機
代　表　者	代表取締役社長　小谷 眞由美
設　　立	1973年10月
資　本　金	19億8,566万円
社　員　数	683人（2019年3月末現在、連結）
連結売上高	218億円（2019年3月期）
上　　場	東証第一部
証券コード	6482
売買単位	100株

（参考資料）商品ラインアップ（1）

取出ロボット

売上構成比



2019年3月期

FRAシリーズ
<横走行タイプ>

HSAシリーズ
<横走行タイプ>

HSTシリーズ
<横走行タイプ>

RCシリーズ
<横走行タイプ>

YCシリーズ
<横走行タイプ>

TSXAシリーズ
<サイドエントリータイプ>

SCシリーズ
<横走行タイプ>

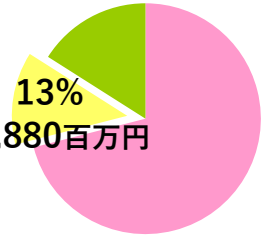
ATCシリーズ
<横走行タイプ>

HOPシリーズ
<スイングタイプ>

（参考資料）商品ラインアップ（2）

特注機

売上構成比



2019年3月期

フレキシブル
モジュールストッカ

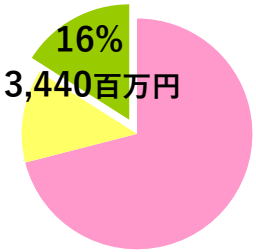
インモールド装置

ゲートカット
システム

パレタイジング
ロボット

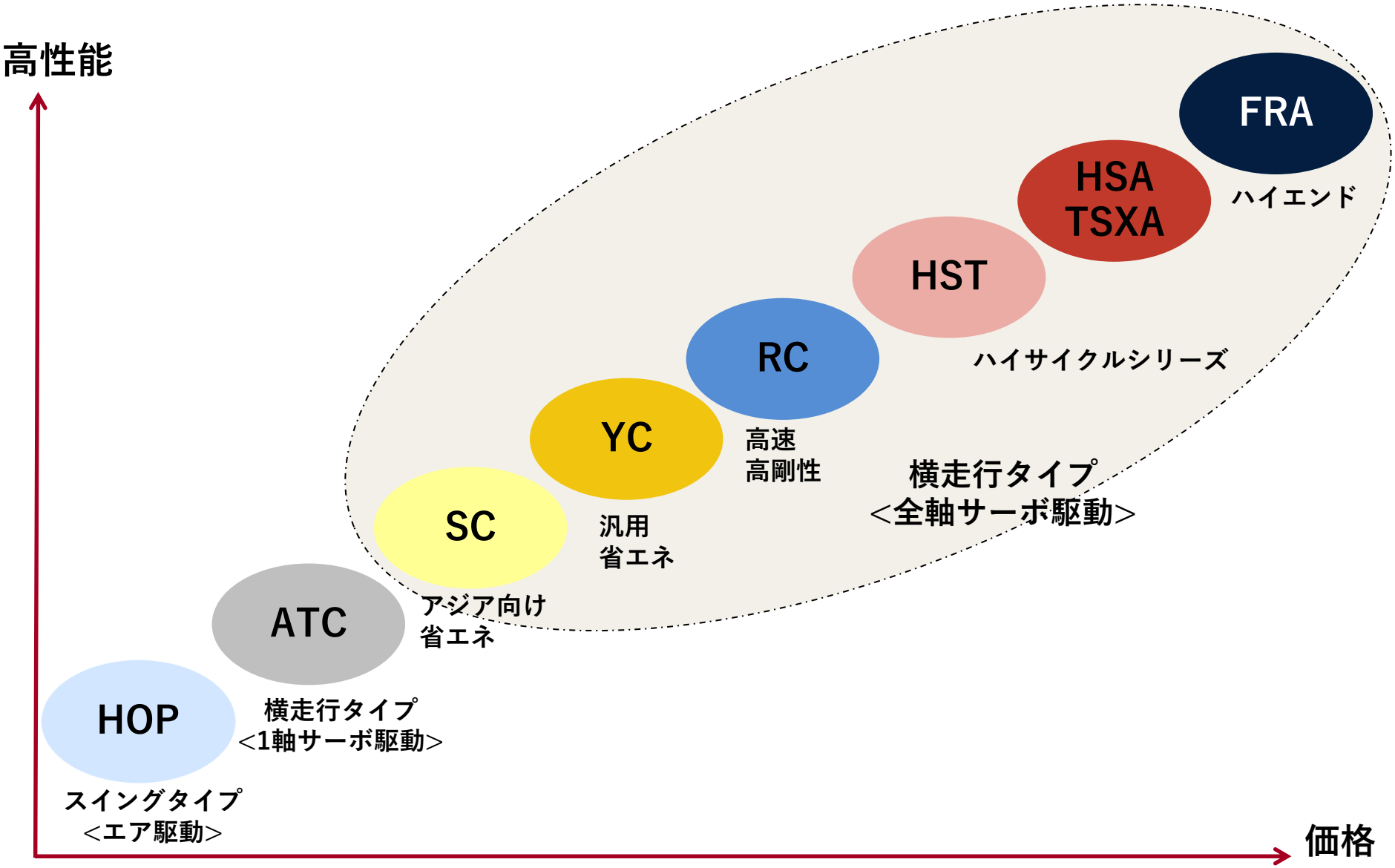
部品・保守サービス

売上構成比

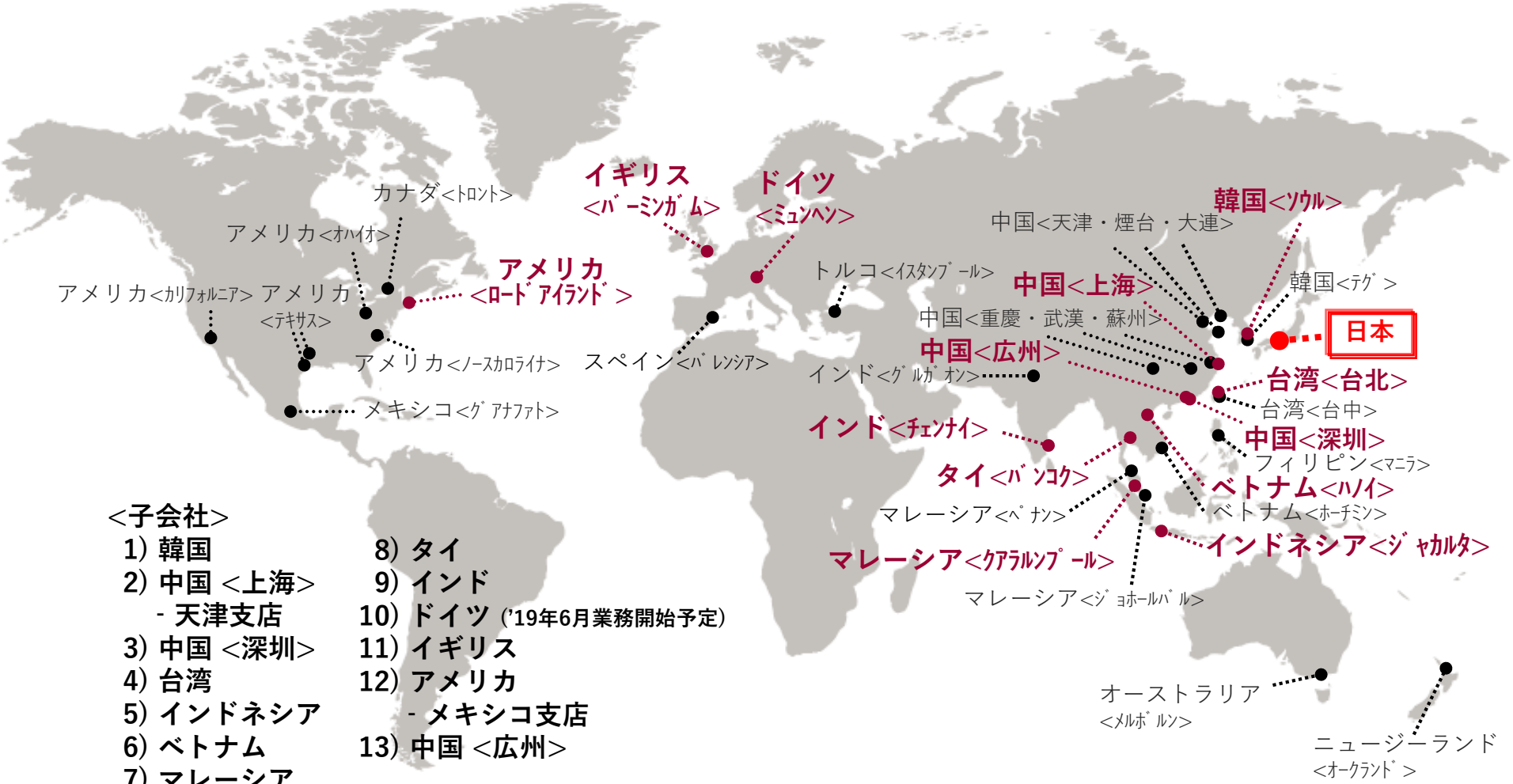


2019年3月期

（参考資料）取出ロボットの性能と価格



（参考資料）グローバルネットワーク



<子会社>

1) 韓国
2) 中国 <上海>
   - 天津支店
3) 中国 <深圳>
4) 台湾
5) インドネシア
6) ベトナム
7) マレーシア
8) タイ
9) インド
10) ドイツ（'19年6月業務開始予定）
11) イギリス
12) アメリカ
   - メキシコ支店
13) 中国 <広州>

<駐在員事務所>

1) フィリピン

株式会社 ユーシン精機

問合せ先：経営企画室

（TEL）075-933-9555 （E-mail）irinfo@kyo.ype.co.jp

www.ype.co.jp

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

http://ir.ype.co.jp/ja/Top.html

こちらのQRコードからもアクセスできます。→

注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。